

新まちづくり計画（H16～18）事業総括調書

施策体系コード	5-2-1	事業名	「男女共同参画さっぽろプラン」に基づく普及啓発事業
担当	市民まちづくり局男女共同参画室男女共同参画課 清水 211-2962		
全体計画（当初）			
事業内容	男女共同参画社会を実現するためには、社会の制度・慣行などに深く根付いている固定的な性別役割分担意識や文化的・社会的につくられた性差に関する意識を解消することが必要である。このため、性別にとらわれることなく、個人としての尊厳が重んじられる社会の実現に向けた意識改革を促すため、市民や企業等が男女共同参画の理解を深めることができるよう、1)市民及び民間の団体等に対する広報・啓発活動の充実、2)市民自らが男女共同参画に関する意識を形成するための支援、3)男女共同参画を効果的にPRするための推進週間を柱にさまざまな機会や広報媒体を活用して普及啓発活動を推進する。		<年度別の事業内容> 【16年度】【17年度】【18年度】共通 ・男女共同参画リーダー事業、・区男女共同参画推進事業 【16年度】 ・女と男のための講演会、・リーフレット作成 【17年度】 ・女と男のための講演会、・男女共同参画ガイドの作成 【18年度】 ・男女共同参画に関する市民意識調査
	平成16年度事業内容（決算）		平成17年度事業内容（決算）
事業内容（量・場所・規模等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画リーダー事業</li> <li>地域での自主的活動により、男女共同参画の普及や調査研究を行う「男女共同参画リーダー」を養成。</li> <li>・女と男のための講演会</li> <li>日時：6月26日（土）13：30～ 会場：道新ホール</li> <li>テーマ：私のほくほく話し 講師：目加田頼子（NHKアナウンサー）</li> <li>・区男女共同参画推進事業</li> <li>各区において地域への男女共同参画の普及啓発事業の実施。</li> <li>・女性に対する暴力に関する講演会</li> <li>日時：11月25日（木）14：00～</li> <li>会場：男女共同参画センターホール</li> <li>テーマ：夫・パートナーからの暴力の根絶を目指して</li> <li>講師：戒能民江（お茶の水女子大学生活科学部教授）</li> <li>・女性に対する暴力に関するリーフレット作成</li> <li>夫・パートナーからの暴力に悩んでいませんか（カードサイズ）4万部</li> <li>夫・パートナーからの暴力に悩んでいませんか（A4サイズ）2万部</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画リーダー事業</li> <li>地域で男女共同参画の普及や調査研究を行う「男女共同参画リーダー」の自立に向けた支援。</li> <li>・女と男のための講演会</li> <li>6月23日から6月29日までの男女共同参画週間内に実施。</li> <li>・区男女共同参画推進事業</li> <li>各区において地域への男女共同参画の普及啓発事業の実施。</li> <li>・男女共同参画ガイドの作成</li> <li>男女共同参画社会の実現に向けた課題等をわかりやすく解説する「札幌市男女共同参画ガイド」の改訂版の作成。</li> </ul>	
事業内容（量・場所・規模等）	平成18年度事業内容（決算）		評価（成果）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域男女共同参画推進事業（男女共同参画リーダー事業）</li> <li>地域での自主的活動により、男女共同参画の普及や調査研究を行う「男女共同参画リーダー」を養成。</li> <li>・地域男女共同参画推進事業（各区男女共同参画推進事業）</li> <li>男女共同参画の推進にかかわる活動をしている団体及び当課、区との連携により、清田区等を会場に男女共同参画の普及啓発事業を実施。</li> <li>・男女共同参画に関する市民意識調査</li> <li>市民4,000人を対象に郵送による市民意識調査を実施する。</li> <li>・男女共同参画に関するパネル展実施</li> <li>国の男女共同参画週間に合わせて、男女共同参画の普及啓発事業としてパネル展を実施。</li> <li>・男女共同参画の普及啓発の一環として、「見てわかる！あなたの身近に、男女共同参画」（身近なところにもたくさんある男女共同参画の具体的事例を紹介したリーフレット）を作成、配布した。</li> <li>・子ども未来局に予算委託し、生活情報誌にワークライフバランスに関する記事を掲載した。また、掲載後においても使用できる形式とする事により、後日の広報啓発に活用されている。</li> </ul>		<p>「男女共同参画さっぽろプラン」に基づき、男女共同参画社会実現に向けて、市民意識の醸成・啓発活動を展開した。これまで社会的・文化的に形成されてきた意識を短期間で変革に結びつけることは、至難の業であるが、男女の社会上の平等感の数値に見られるように少しずつではあるが向上しており、事業を停滞させることはできない。今後も事業を地道に展開していくことが要求されている。</p> <p style="text-align: center;">課 題</p> <p>平成18年6月に実施した市民意識調査の結果から、市民の男女共同参画に対する認知度が低いこと、また、「女性に対する暴力」への認識が深まっているとはいえない状況にあることが判明した。このため、男女共同参画の理解を深めてもらうための一層の広報・啓発活動のさらなる充実が求められている。</p>
19年度以降の方向性・事業の予定			
<p>男女共同参画社会を実現するためには、社会の制度・慣行などに深く根付いている固定的な性別役割分担意識と社会的性別の意識を解消することが必要だが、それらの意識は歴史や文化により長い時間をかけて培われ、一朝一夕には、難しい。</p> <p>札幌市としても、色々模索しているが、これに取り組めば機運が盛り上がり、男女共同参画の進捗につながるという特効的なものはなかなか見あたらないことから、行政と市民・事業者など社会を構成するそれぞれの主体が、さまざまな場面で連携して、問題を一つずつ解決していくといった息の長い取組、地道な事業展開、裾野を広げた展開が不可欠であると考えている。</p> <p>平成18年度は、男女共同参画さっぽろプランの見直しについて、男女共同参画審議会から答申を得、「男女共同参画の数値目標の設定」などに関する意見書も同時に提出され、男女共同参画行政推進会議を経て、第2次プランを策定した。第2次プランにより示された方向により、男女共同参画社会の実現を目指す。</p>			

